

市町村地域課題①

自治体名	南阿蘇村
地域課題の名称	移住者コミュニティの形成
地域課題を抱える地域	村内全域
解決したい課題 (具体的内容)	南阿蘇村へ移住した方々のコミュニティ形成及び地域コミュニティへの円滑な参入
課題の背景	<p>南阿蘇村は熊本地震後の人口減の解消を目指し、様々な移住・定住促進施策を実施しておりますが、移住をしようとしている方、移住した方から地域コミュニティへの参入に対する不安の声が上がっております。</p> <p>具体的には、新たに南阿蘇村に移住を検討する際に、地元コミュニティにどうやって入っていけば良いかが分かりにくいこと、先輩移住者と話すのが難しいこと等が上がっています。</p>
求める解決の方向性、 将来像	移住者コミュニティ形成、継続の流れを作る。 移住者希望が地域コミュニティに参入する筋道を作る

市町村地域課題②

自治体名	御船町
地域課題の名称	中山間地域における空き家の確保及び移住者の獲得について
地域課題を抱える地域	御船町中山間地域 (滝尾、水越、七滝、上野、田代東部、田代西部)
解決したい課題 (具体的内容)	<p>○中山間地域における空き家の確保 中山間地域に空き家はあるものの、「相続ができていない」「大規模な改修が必要」「年に数回使用するから貸せない」「思い入れがある」などの理由でなかなか空き家バンクに登録していただけない。また、中山間地域における宅地分譲や建売住宅の販売を促進したい。</p> <p>○中山間地域への移住者の呼び込み・PR 中山間地域に特化した移住体験のイベントを開催し、移住者を獲得したい。</p>
課題の背景	<p>御船町の平坦地域においては、企業の立地や宅地分譲で人口が僅かながら増えてきている一方で、中山間地域は毎年100人程人口が減少している。このまま高齢化と人口減少が進むと、平坦地域との二極化がより顕著になるとともに、地域の維持が難しくなる。</p> <p>また、中山間地域への移住希望の問い合わせはあるが、案内可能な物件(空き家等)がなく、移住者の獲得に繋がっていない。</p>
求める解決の方向性、 将来像	<p>中山間地域に若者が移住し、地域住民と移住者のグループが支えあう地域をつくる。</p> <p>また、地域のリーダーとなるような移住者や地域に密着して活動を行うような移住者が増え、移住者の輪を広げ、そのような活動が拡大していく。</p>

市町村地域課題③	
自治体名	甲佐町
地域課題の名称	スポーツを通じた地域活性化
地域課題を抱える地域	甲佐町大字船津・有安
解決したい課題 (具体的内容)	<p>「総合運動公園の利用者の伸び悩み」</p> <p>町を貫流する緑川河川敷に、町の交流人口増加・スポーツを通じた地域活性化を目的に、サッカーコート2面、テニスコート8面、野球場、ソフトボール場、遊歩道、管理棟を有した総合運動公園「熊本甲佐総合運動公園」をH26年度から整備しており、令和5年3月に全面完成を迎える。</p> <p>H29年度から工事に着手し、各施設の工事が完成し次第、供用開始している。最初の施設として令和元年度に供用開始したサッカーコートについては今年で4年目を迎えるが、施設の1番の問題は利用率が上がらない点である。年間の利用状況を見てみると土日の稼働率は増加しているが、平日の昼間についての稼働率が乏しい状況にある。また、利用率問題に付随して施設運営に係る収支のつり合いが取れていない点も課題としてあげられる。現在、町直営で運営している同施設は、施設の利用料のみを収入としているが、日常の管理に係る人件費・原材料費などの支出には到底追いつかない状況となっている。</p>
課題の背景	<p>本町では、平成26年度から国土交通省と連携し一級河川「緑川」を活用した地域活性化等を目的とした「甲佐地区かわまちづくり事業」を進めており、令和5年3月には公園全体の整備が完了することとなっている。</p> <p>各施設は、町、国土交通省、地元住民、町内の体育団体や学校関係者等で構成する協議会にて協議し整備を決定したものである。利用者数の伸び悩みの背景としては、団体スポーツにおいて平日の昼間に人が集まりにくいこと、公園の知名度が高くないこと、近年では新型コロナウイルス感染拡大による自粛の影響によるものではないかと考えている。</p>
求める解決の方向性、将来像	<p>①利用率の増加</p> <p>②町内外問わず世代間：地域間交流の拠点としての活用</p>